

戦跡紹介

高射砲陣地跡 大阪市東淀川区西淡路5-4-17

東淀川区淡路にある公園南側の奥まった所には、旧日本陸軍が使用した高射砲台が現在も残っています。戦前に6基造られ、戦後2基が取り除かれましたが、現在4基が残されています。この高射砲台は、全国的にも珍しい二階建て、キノコによく似た形をしています。



参考資料：2006（平成18）年3月16日朝日新聞

寄贈品紹介

●日本陸軍九三式背負袋

背のうが生産中止となった1944（昭和19）年以降は、その代用として多く用いられました。使い方は、真中の筒状の部分に荷物を入れ、両端の太いひも状の部分を手で結び、荷物を背負う方法でした。さらに、しっかりと身体に固定するため、長い細ひもを胴に回して結びました。前後から見ると、本体の部分と固定用のひもが対角線状に十字を描くようになる「タスキ掛け装着法」が最も一般的な背負い方とされています。



石田 博氏 寄贈
(サイズ:265×1860mm)

ピースメッセージ

ピースおおさかに来られた方から寄せられた
ご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- 昔の戦争のつらさ、悲しさ、怒りなどが伝わりました。写真を見ると食べるものがなくて、やせ細っている人がいました。今は平和で食べ物があるから、無駄なく大切に食べていきたいと思いました。
兵庫県伊丹市（13歳）
- とても充実した内容です。特に夏休みなどは、もっと皆さんに見てほしいと思います。私の息子は、小学校2年生で「内容がむずかしく、わからない」と言っていたのですが、何回か通わせ、その年齢にあわせて理解していったらいいと思いました。もっと学校などに紹介する機会をつくってください。私は、たまたま通りかかってこの施設を知りました。
大阪市（43歳）
- 2階の戦時下の民家のセットが印象に残りました。NHKの朝のドラマ「きらり」を毎日見ているので、一緒に来ている子どもたちも当時の様子がよくわかったようです。1階では、思わず顔をそむけたくくなるような写真の連続で怖かったです。これらのことは、事実なのできちんと知り、子どもにも伝えたいと思いました。
大阪府泉北郡忠岡町（40歳）
- 日本の歴史について学ぶにはとても良いところですよ。
(原文は英語) スリランカ（25歳）
- 貴館の建物の様式がとても美しいです！(原文は英語)
オランダ（33歳）
- すばらしい展示です。戦争に勝者はない、敗者だけだと学びました。特に女性や子どもにとって。(原文は英語) アメリカ（42歳）
- この博物館は小さいけれど、大変訴えかける力があり、とても満足しました。(原文は英語) イスラエル（29歳）

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え、「平和の首都」大阪の実現をめざす『ピースおおさか友の会』会員を募集しています。

会員特典	1年間無料で入館できます。常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。講演会・特別展示等の催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。		
会費	個人会員 団体会員	年額2千円 年額1万円(1口)	※何口でも結構です。
申込方法	・直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ・銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行) ・郵便局振込		

ピースおおさか
ミュージアムショップ オリジナルグッズの紹介

常設展示を解説した「展示のてびき」やブックレット「大阪にも空爆があった」などの資料や来館記念・お土産として「缶バッジ」「キーホルダー」「Tシャツ」「ランチクロス」など、オリジナルグッズを販売しています。



資料寄贈者 2006.3.6～2006.8.31 (敬称略)

団体

尼崎市立地域研究史料館	ひめゆり平和祈念資料館
沖縄県平和祈念資料館	ヒューライツ大阪
樹花舎	兵庫の語りつごう戦争展の会
原爆文学研究会	広島大学
国立歴史民俗博物館	広島大学平和科学研究センター
埼玉県平和資料館	広島平和文化センター
在日本大韓民国国民団大阪府地方本部	福島区歴史研究会
秀学社	平凡社
昭和館	平和祈念事業特別基金
世界人権問題研究センター	明治学院大学国際平和研究所
太平洋戦史館	大和ミュージアム
朝鮮通信使学会	立命館大学国際平和ミュージアム
日本絵手紙協会	リパティおおさか

個人

青木千枝子	楠田美枝子	櫻井茂子	丹羽妙子	溝邊 修
足立賀男二	楠山雅彦	杉浦みな子	長谷川幸恵	三森政治
網 信二	窪 順三	船場弘子	馬場秋星	宮本 明
石田 博	久保三也子	高橋克雄	平岡 潤	森田計三
伊藤明彦	小山 徹	寺下 勉	福山琢磨	森本昭治
今井健嗣	小山仁示	遠山幸子	松本仁一	山口美智則
大西 進	酒井 勉	富山一郎	水澤 央	
尾嶋清篤	佐久間圭作	西原照子	水速信孝	

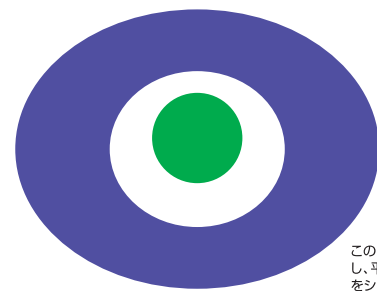
資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料および資料に関する情報を収集し、調査・研究に役立て、後世に伝えていくため大切に保存しています。この意義をご理解いただき、資料収集にご協力くださいますようお願いいたします。

●問い合わせ先●

ピースおおさか

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208
FAX.06-6943-6080



ピースおおさか
OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2006 9/30
No.36

編集・発行／財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06 (6947) 7208 FAX.06 (6943) 6080
ホームページ http://mic.e-osaka.ne.jp/peace/

このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」の愛称が
「^{とき}^{にわ}刻の庭」に決定

「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」が、子どもからお年寄りまですべての人々に愛され、いつまでも親しまれるよう、また、次世代を担う子どもたちへ戦争の悲惨さと平和の尊さが伝わることを願って愛称を、2006（平成18）年6月1日～30日までの間、募集しました。

小学生からご年配の方々まで111点の応募があり、「愛称検討委員会」（委員長 作詞家：もず唱平）で、兵庫県川西市在住の橋本 扶美枝さんの「^{とき}^{にわ}刻の庭」が最優秀賞に選ばれ、愛称として決まりました。

■最優秀賞受賞者（選考理由）

「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」のモニュメント銅板には、第二次世界大戦末期の大阪空襲で犠牲となられた一人ひとりの名前が「とき」の証人として「刻」まれています。平和を願う心が「^{とき}刻」を超えて生き続けるようにとの思いをこめて名づけられました。ここを訪れた人々が「とき」を振り返り、犠牲者の恐怖や無念さに思いを馳せるとともに、今ここに生きている私たちが、平和の重み、平和であることの尊さを今一度噛み締める機会としていただけることを期待して選考しました。



平和を願うモニュメントに大阪空襲死没者名を追加

第二次世界大戦末期の空襲により、大阪府内では死者・行方不明者を合わせて約1万5千人の被害があったといわれています。戦後60年にあたる昨年8月、空襲で亡くなられた人々を追悼し、恒久平和を祈念す

るためのモニュメントをピースおおさかの中庭に整備したところであり、本年8月には、新たに判明した239名を追加し、8,942名の犠牲者のお名前を「空襲死没者名簿」に登載してモニュメントに収納しています。

■開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
■休 館 日 月曜日・祝日の翌日・年末・年始・月末

■入 館 料 大人250円、高校生150円（中学生以下、65歳以上及び障害者の方は無料）
■交 通 JR環状線・地下鉄「森ノ宮」駅下車西へ約400m

展示事業

特別展

「心をこめて地雷ではなく 花をください」

期 間：5月30日(火)～7月9日(日)
(計41日間)

協 力：葉祥明美術館
NGO地雷による被災児を救う会
アフガニスタン大使館
Unicef、共同通信

参加者：9,823名

絵本「心をこめて地雷ではなく 花をください」を中心に、今も残る地雷や不発弾の撤去を訴え、紛争地域の現状や現地の子どもの表情を写真で伝えながら、平和とは何か、人の幸せとは何か、私たちは何をしていかなければならないかを考えていただくことを願って開催しました。



特別展「戦争で失われた船と船員」



太平洋戦争が始まると民間の船舶と船員が軍に徴用され、主に戦争に必要な物資や人を輸送するために使われました。これらの船舶は、連合軍の攻撃目標となり、多くの船舶が失われ、同時に船員約6万人の命が奪われました。

このような戦争による悲惨な事実を風化させず、後世に語り継いでいくため、沈没した船舶及び船員の被害等について解説するとともに、船の模型・写真、実物資料など約100点を展示しました。

16ミリ映画・ビデオ・写真パネルの貸出

地域や学校での平和学習に、16ミリ映画フィルムやビデオ・写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。

ピースおおさか2006(平成18)年度前半の事業報告

4月より9月までの主な事業の様子を報告します。

8.15終戦の日平和祈念事業
「太平洋戦争と日本の海運」

I部：講演

「元船員の戦中、戦後の体験」

講 師：溝邊 修
(戦没船を記録する会)



II部：講演

「日本商船隊の壊滅と経緯について」

講 師：宮田 幸彦
(戦没商船拿捕船研究会)

日 時：8月13日(日) 午後2時20分～4時
参加者：164名

21世紀の平和を考えるセミナー

《第21回》

「平和を創る発想術～紛争から和解へ～」



講 師：ヨハン・ガルトウング
(「構造的暴力」の概念を
創始した平和学研究者)
(逐次通訳：西村 文子)

日 時：5月28日(日)
午後2時～4時
参加者：155名

《第22回》

「もず唱平が語るスリランカ

～現地報告(内戦・大津波)とミニライブ(民衆の歌)～」



I部：スリランカからの報告
(スライド上映)

報告者：ニファール・アンサリー
聞き手：もず唱平(作詞家)

II部：講 演

「インド洋大津波が平和に与える影響」

講 師：もず唱平(作詞家)

III部：ミニライブ(スリランカの歌)

歌 手：MAYUMI

日 時：9月9日(土) 午後2時～4時
参加者：141名

ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認め合って同時に存在し得る世界であることを表現しています。

企画事業

フィールドワーク

「都島区、旭区の
空襲あとを歩く」

日 時：6月11日(日)
午前9時30分～12時
参加者：42名



大阪市都島区を中心とした地域は、1945(昭和20)年6月7日午前の大規模な空襲にみまわれ、多数の死傷者を出しました。千人塚などの空襲慰霊碑を巡り、戦争の悲惨さを改めて思いおこす機会となりました。

21世紀の子どもたちへおくる
平和のつどい

人形劇団クラルテ

チェロ演奏による人形劇

日 時：7月30日(日)
午後2時～3時

参加者：273名



夏休み親子で見る映画 一戦争ってなあに?一

参加者：99名

7月22日(土)	おかあちゃんごめんね 他
7月23日(日)	お手紙 他
7月29日(土)	字のないはがき 他

教員のための「平和学習」講座

日 時	内 容	講 師
8月2日(水) 午前10時～12時 午後2時30分～4時30分	「大阪大空襲を伝える」 一大阪大空襲の証言一	伊賀孝子 (大阪戦災被害者・遺族の会代表)
	「平和をつくる教育をはじめよう」 平和学習ワークショップ	村上登司文 (京都教育大学教授)
8月3日(木) 午前10時～12時 午後2時30分～4時30分	「大阪城公園内に残る空襲跡を歩く」 フィールドワーク	三宅宏司 (武庫川女子大学教授)
	「子どもたちに平和をどう伝えるか」 平和学習ワークショップ	奥本京子 (大阪女学院大学助教授)

(参加者：35名)